

三島の美しい風景を あなたの手で

平成 30 年度花壇コンクール参加者募集!

もうすぐ寒い冬が終わり、花々は目覚め、1年で最も華やかな季節を迎えます。道行く人々やお花好きの皆さんに楽しんでいただくため、市では花壇づくりや玄関先をハンギングバスケットなどで装飾する「三島流オープンガーデン」を推奨しています。

皆さん自慢のお庭をご応募ください。

募集期間 2月15日(木)～3月16日(金)

※申込み後、4月6日(金)を目途に花壇のカラー写真(デジタルデータ)を提出してください。

☎水と緑の課



▲前回個人の部努力賞：土屋和子さん



▲前回中学校の部市長賞：錦田中学校



▲前回幼稚園の部市長賞：東幼稚園



4月7日(土)、8日(日)春のみどりまつり@長伏公園 イベント参加者募集

フリーマーケット出店者募集

☎午前9時～午後3時30分※雨天中止

☎区画数 各日30区画※応募多数時抽選

☎区画サイズ 3m×3m

☎市内在住で一般家庭の不要品(自主製作品、飲食物、園芸用品不可)を販売する18歳以上のアマチュア

☎費1区画1日700円

☎3月22日(木)までに、次の①②を封筒で水と緑の課

①便せんなどに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、出品物の内容、出品希望日(2日間参加可の場合、その旨を記入)、「みどりまつりフリーマーケット出店希望」と記入したもの

②宛名面に住所、氏名を記入し82円切手を貼った返信用封筒

☎記入内容や送付物に漏れがあると無効です。一世帯

一通まで。名義貸し行為は禁止、当日本人確認を行います。

フラワーコンテスト参加者募集

☎自身で搬入、搬出できる人※個人、グループ、団体などを問いません

☎対象作品 高さ、幅ともに70cm以下程度のハンギングバスケット、コンテナガーデン※作製経費は自己負担です。詳細は水と緑の課内備え付けの募集要領をご覧ください。

☎搬入 4月6日(金)午前9時～正午に長伏公園※都合がつかない場合は、事前に水と緑の課へ連絡ください

☎表彰 4月8日(日)午後0時30分からみどりまつり会場で実施。受賞者には前日夕方に連絡します。

☎搬出 出展作品は4月8日(日)に返却

☎☎3月22日(木)までに水と緑の課



～花づくりを楽しむために～
初めての園芸②
「春のガーデニング」

春はガーデニング作業が最も忙しい季節です。中でも春の種まきは、初夏から秋を彩る花々の開花に向けた大切な作業時期です。失敗した経験から種まきを敬遠する人も多いと思いますが、コツさえつかめば大丈夫。上手な種まきのコツは、発芽条件を知ることです。発芽は光や温度が大きく作用し、その条件が満たされないと腐ってしまいます。特に発芽温度は最も重要な条件で、失敗の多くはここにあります。あらかじめ、種の発芽条件を調べておきましょう。また、種まき専用培養土を使うことにより発芽率が上がりますのでお勧めです。

花づくり講習会
「多肉植物寄せ植え」

- 時 3月22日(木)午後1時30分～3時30分
- 場 楽寿園内展示場
- 内 多肉植物を使った寄せ植え作りの実習と管理についての講義
- 講 富士のくに花の都しずおかアドバイザー：幸野修己さん
- 費 1,000円(材料費) ※当日会場で集金
- 対 市内在住、在勤の人
- 定 30人 ※応募多数時抽選
- 申・問 3月9日(金)までに水と緑の課



▲ぶっくりかわいい多肉植物を寄せ植え

春のコンテナガーデン
講習会

- 時 3月19日(月)
- ①午前10時から②午後2時から
- 場 みどり育苗センター(初音台24・13)
- 内 日本ハンギングバスケット協会公認講師による春のコンテナガーデンの作製と管理に必要な知識、技術についての講義と実習
- 費 2,500円(材料費)
- 対 市内在住、在勤の人
- 定 各30人 ※応募多数時抽選
- 申・問 3月5日(月)までに水と緑の課



▲素敵なコンテナガーデンを作りましょう



「私も参加しています」
ガーデンシティ」

23

Welcome ガーデン三恵台

秋山 健二郎さん

地域コミュニティの活性化を目的に、花街道に面した三恵台入口の市遊休地を借り、花壇デザインから造成まで住民自らが思いを込めて二年掛かりで完成。富士山の眺望が出来るゾーンにレンガを敷き、ベンチを設けたくつろぎスペースや、足元に優しいチップを敷いた遊歩道など、多くのアイデアを基にみんなで取り組みました。

花壇づくりが進むにつれ、通りすがりの人たちが、「ご苦労さまの言葉をかけてくれました。」「これを使って」と寄付していただいたものや、持ち寄りの花木、球根、花苗などと、市やガーデンシティみしま推進会からの支給物品を活用し、念願の地域花壇「Welcome ガーデン三恵台」を完成させることが出来ました。

今では花壇運営委員も40人。将来を担う子どもたちも一緒に土に触れるキッズ花壇など、季節の花を眺めながらの地域ふれあいの場になりました。地域住民やウォーキングで立ち寄った人から「奇麗ですね」と一言かけられることにやりがいとうれしさを感じています。

